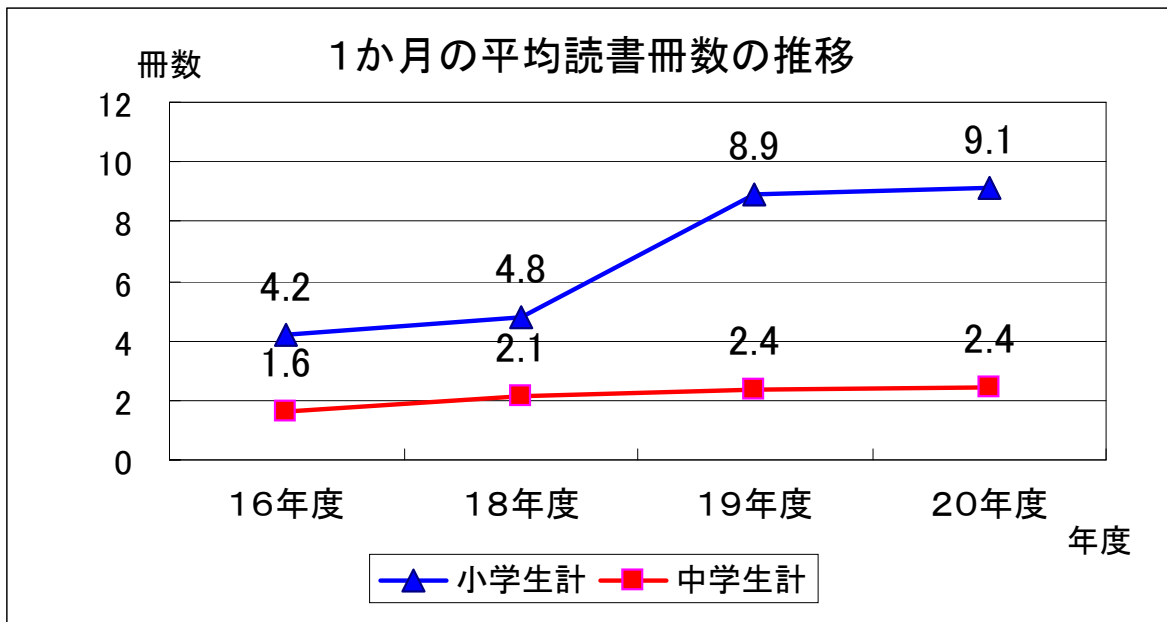
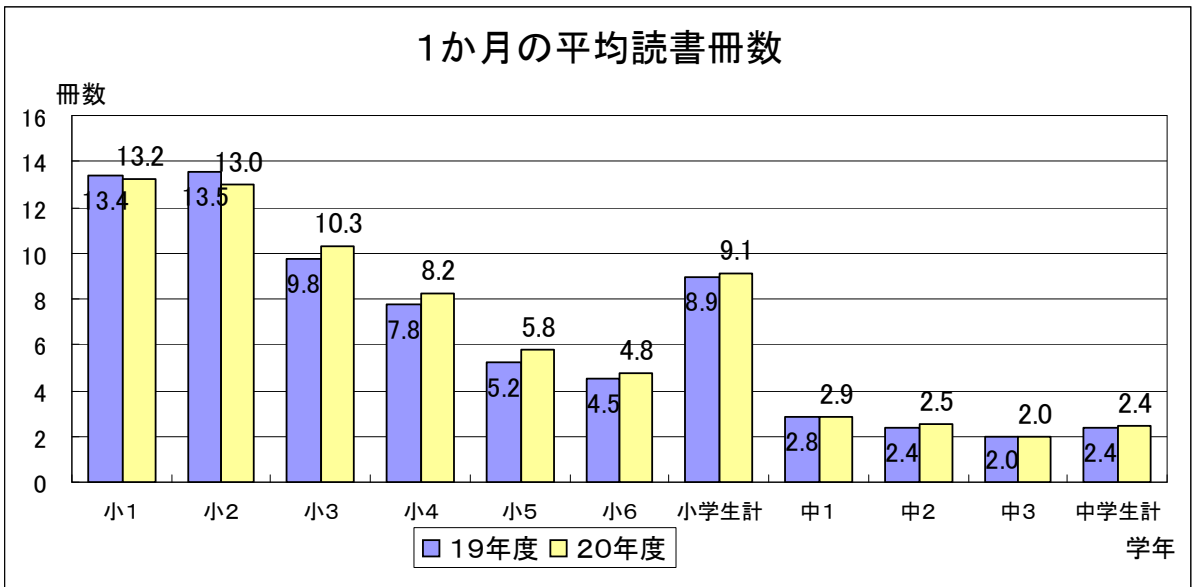
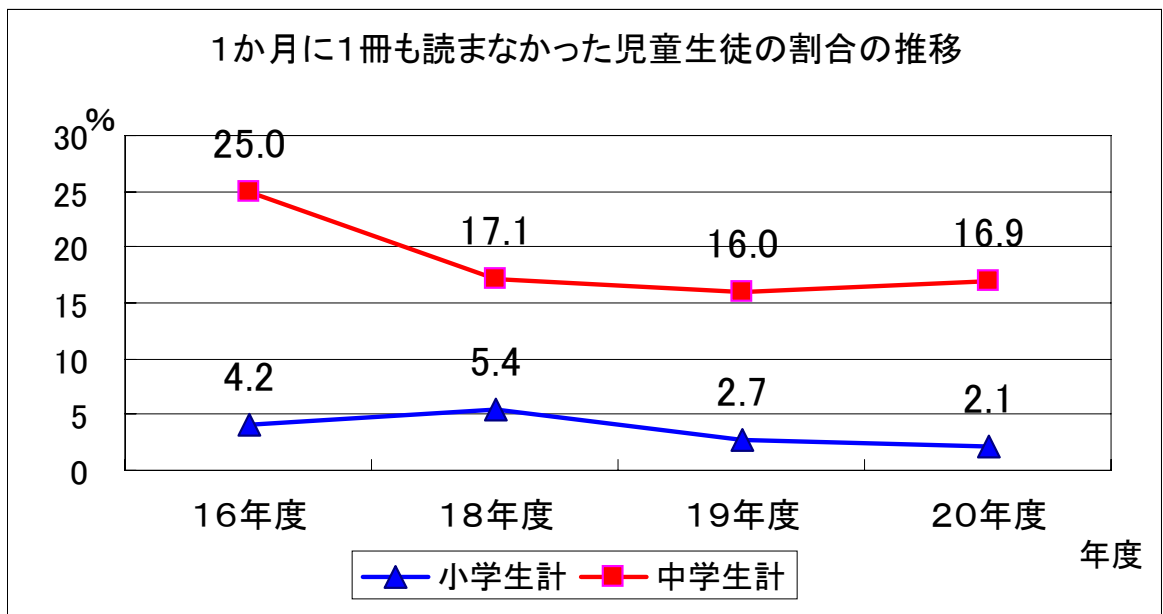
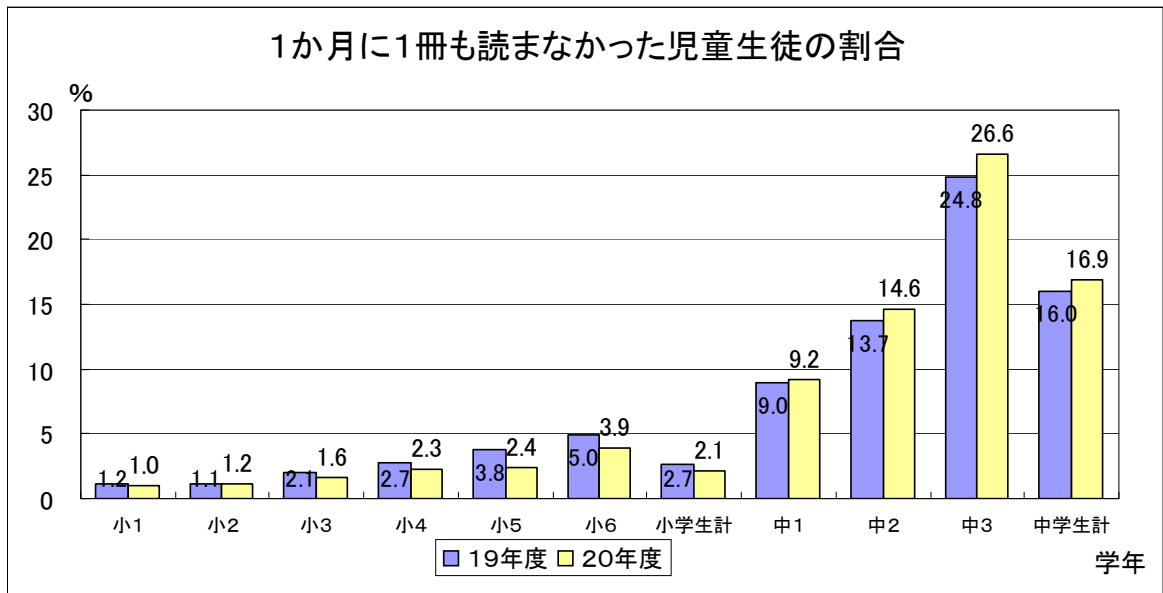
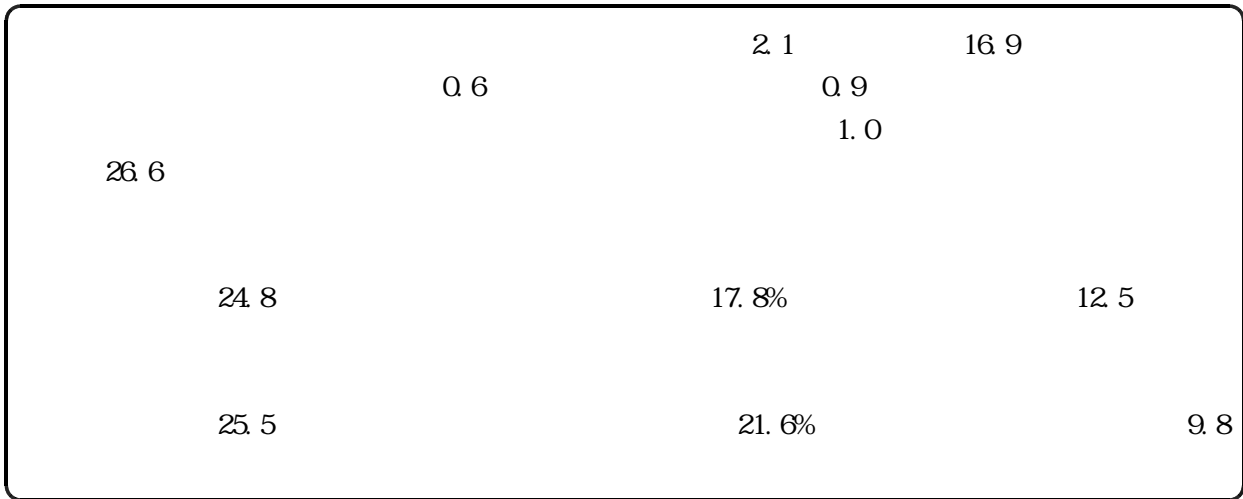


	13,862	14,062	14,324	14,772	14,478	14,910	86,408

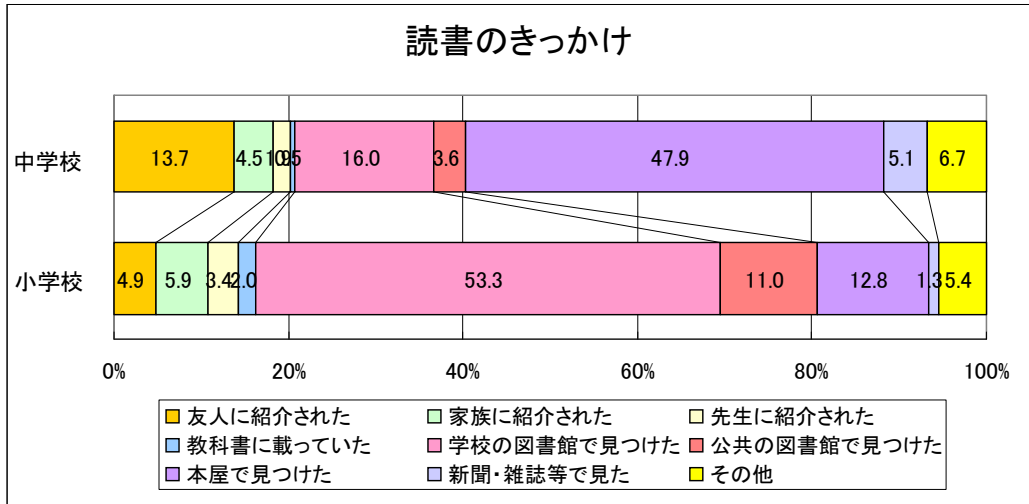
	9,671	10,165	9,992	29,828

			9.1	
2.4				0.2
	13.2			
		43.5	40.9	
		25.2	24.3	
	21.5	23.4%		

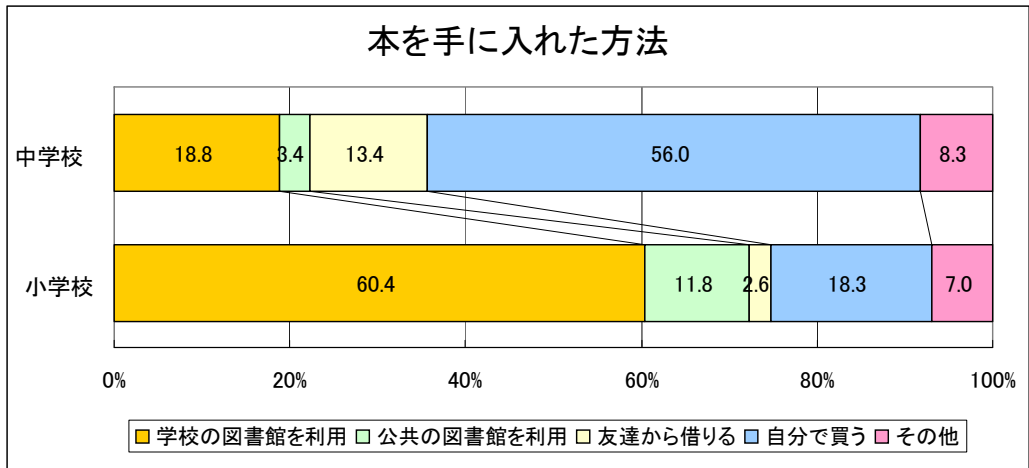




	53.3	12.8
	11.0	
	47.9	16.0
	13.7	



	60.4	18.3
	11.8	
	56.0	18.8
	13.4	



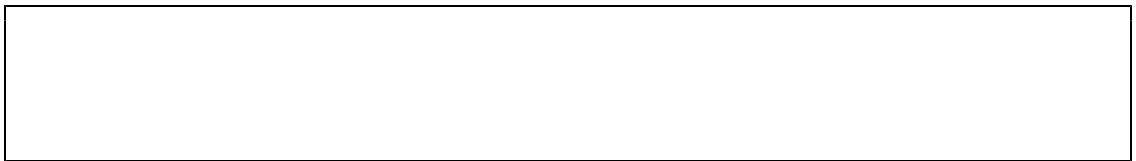
16.9

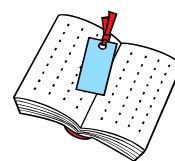
2.4

平成20年度「読書に関する調査」集計表 ～ 11月1か月に本を何冊読んだか ～

平成21年3月9日 学習指導課 (人)

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学生計	割合(%)	中1	中2	中3	中学生計	割合(%)
調査人数		13,862	14,062	14,324	14,772	14,478	14,910	86,408		9,671	10,165	9,992	29,828	
読書冊数(1か月当たり)	読まない	139	168	231	342	346	586	1,812	2.1	885	1,489	2,659	5,033	16.9
	1冊程度	450	443	718	813	1,355	1,884	5,663	6.6	2,118	2,582	2,811	7,511	25.2
	2冊程度	498	579	802	1,090	1,814	2,472	7,255	8.4	2,317	2,310	1,776	6,403	21.5
	3冊程度	667	670	968	1,369	2,147	2,461	8,282	9.6	1,726	1,618	1,176	4,520	15.2
	4冊程度	744	769	1,005	1,319	1,758	1,842	7,437	8.6	954	731	559	2,244	7.5
	5冊程度	859	942	1,328	1,596	1,818	1,565	8,108	9.4	643	550	386	1,579	5.3
	6冊程度	691	826	1,017	1,126	1,048	924	5,632	6.5	316	228	172	716	2.4
	7冊程度	654	672	893	964	764	698	4,645	5.4	170	142	97	409	1.4
	8冊以上	9,160	8,993	7,362	6,153	3,428	2,478	37,574	43.5	542	515	356	1,413	4.7
	合計読書冊数	183,265	182,784	147,849	121,519	83,729	71,131	790,277		27,648	25,379	19,511	72,538	
平均読書冊数	13.2	13.0	10.3	8.2	5.8	4.8	9.1		2.9	2.5	2.0	2.4		
読まない理由	勉強等で忙しい	7	17	25	16	22	34	121	6.7	95	106	887	1,088	21.6
	部活動で時間がない	0	4	6	15	12	30	67	3.7	113	173	12	298	5.9
	テレビが楽しい	10	4	18	11	31	52	126	7.0	83	137	173	393	7.8
	ゲームが楽しい	20	11	26	44	46	80	227	12.5	82	172	117	371	7.4
	マンガ等が楽しい	5	9	41	96	118	181	450	24.8	211	386	687	1,284	25.5
	遊びが楽しい	54	54	39	76	33	67	323	17.8	58	78	100	236	4.7
	どんな本を読んでいいかわからない	13	28	34	26	19	21	141	7.8	38	50	114	202	4.0
	読まなくても困らない	4	2	4	14	11	29	64	3.5	68	194	232	494	9.8
	本が嫌い	10	6	16	12	25	57	126	7.0	63	97	170	330	6.6
その他	16	33	22	32	29	35	167	9.2	74	96	167	337	6.7	
読書のきっかけ	友人に紹介された	583	591	661	663	687	953	4,138	4.9	991	1,372	1,043	3,406	13.7
	家族に紹介された	1,114	845	869	774	754	596	4,952	5.9	463	357	306	1,126	4.5
	先生に紹介された	836	633	321	409	292	427	2,918	3.4	179	157	134	470	1.9
	教科書に載っていた	386	564	219	150	106	309	1,734	2.0	54	41	25	120	0.5
	学校の図書館で見つけた	8,103	7,771	7,967	7,976	7,129	6,126	45,072	53.3	1,562	1,208	1,197	3,967	16.0
	公共の図書館で見つけた	1,396	1,840	1,667	1,642	1,462	1,298	9,305	11.0	347	274	270	891	3.6
	本屋で見つけた	743	963	1,332	1,792	2,544	3,451	10,825	12.8	4,093	4,322	3,469	11,884	47.9
	新聞・雑誌等で見た	65	106	148	172	227	371	1,089	1.3	475	429	361	1,265	5.1
	その他	497	581	909	852	931	793	4,563	5.4	622	516	528	1,666	6.7
本を手に入れた方法	学校の図書館を利用	9,840	9,299	8,629	8,664	7,740	6,910	51,082	60.4	1,867	1,384	1,417	4,668	18.8
	公共の図書館を利用	1,590	1,926	1,923	1,764	1,485	1,312	10,000	11.8	333	263	248	844	3.4
	友達から借りる	156	179	291	391	461	689	2,167	2.6	921	1,395	1,014	3,330	13.4
	自分で買う	1,438	1,720	2,239	2,541	3,307	4,207	15,452	18.3	4,840	5,040	4,017	13,897	56.0
	その他	699	770	1,011	1,070	1,139	1,206	5,895	7.0	825	594	637	2,056	8.3



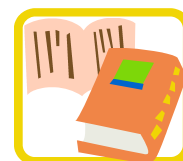


校内研修において、県立図書館など公立図書館から講師を招き、ブックトーク等の実演及び実施に当たってのポイントなどを指導していただいている学校があります。

また、蔵書のデータベース化を図るための入力作業や、傷んだ本の廃棄作業などを全教職員で行うことが蔵書の状況等を再確認することにつながり、授業等での活用に結び付いたという事例など、校内研修を実施することにより、読書活動推進に関する教職員の技能及び意識の向上が図られています。

子どもたちの発達段階に応じた推薦図書・必読書を選定し、幅広い読書を勧めている学校も数多く見られます。リストを作成して子どもや家庭に紹介したり、すべて読み終えた子どもに認定証や読破賞などを与えている学校もあります。また、町が推薦図書を選定するなど、地域ぐるみで読書を奨励している取組みも見られます。

読書目標については、読んだ冊数やページ数で示したり、読んだ本の内容等を葉の形をしたカードに記載させ、葉の茂る木の形にして掲示したりするような取組みが見られます。



蔵書情報がデータベース化されている学校や、公共図書館及び他の学校とのネットワーク化が整備されている学校が少しずつ増えてきています。学校図書館の情報化が進んだ結果、調べ学習が充実するとともに、貸出業務やレファレンス等が短時間で Rowe、貸出冊数の増加をはじめとする読書活動の推進に結び付くなどの効果が報告されています。また、貸出業務にパソコンを導入したことにより、貸出データをもとに自分の読書活動を振り返らせたり、読書傾向をもとに個別にアドバイスを行ったり、蔵書の購入計画に反映させたりするなど、情報化が進んだ学校図書館ならではの活用が図られています。



公共図書館との連携は、図書館法及び学校図書館法それぞれに定められている重要な内容です。公共図書館は、学校及び学校図書館と連携を図ることが目的のひとつとなっています。その方法としては、資料の団体貸出をする、レファレンスサービスをする、子どもたちの図書館見学などを受け入れる、学校（学級）を訪問してお話会や利用指導等を行う、保護者会などで講演をする、ブックトークなど教員向けの講習会を開く、司書教諭等と公共図書館司書の連絡会を開くなど、地域の実情に即して様々な形で実施されています。また、公共図書館からの団体貸出で蔵書不足を補っている取組みも見られます。公共図書館からのアクションを待つだけでなく、学校側から働きかけてみるのが大切です。



(参考)

図書館法 (S25)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望にそい、更に学校教育を援助し得るように留意し、おおむね左の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

八 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

学校図書館法 (S28)

第四条 学校は、おおむね左の各号に掲げるような方法によって、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

五 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。



読書活動の推進を図るために、現在、多くの学校で「学校図書館ボランティア」又は「読書ボランティア」と呼ばれる方々が活躍しています。その多くは読み聞かせ等に関する活動が中心ですが、ボランティアに学校図書館の環境整備や図書の貸出等の業務に御協力いただいている学校もあります。

〈学校図書館ボランティアの活動内容例〉

- ◇ 環境づくり（清掃、書架の整理整頓、飾り付けや掲示物・小物の作成）
- ◇ 本、資料の整理（返却された本の配架、本の受け入れ、装備、修理）
- ◇ ネットワークの補助（予約がかかった本の準備、梱包・発送作業）
- ◇ 読書の楽しさを伝える活動（絵本の読み聞かせ、紙芝居の実演、ペープサート等）
- ◇ 資料づくりの補助（決められたテーマに基づく新聞のスクラップ）

小学校に比べて中学校におけるボランティアの活動場面がまだまだ少ないようです。「中学生という発達段階に読み聞かせはそぐわない」という意識があるのかもしれませんが、実際にボランティアによる読み聞かせ等を実施して、読書意欲の向上に結び付けている中学校もあります。地域や学校の実態を踏まえた上で、ボランティアの協力を仰ぐことも有効な方策のひとつです。

ブックトーク

例えば、「魔法使いがでてくる本」など、あるテーマのもとに複数の本を選び、その内容を子どもたちに紹介することで読書意欲を高める方法です。また、「世界の国々に関する本」など、あるテーマの学習活動の導入としてブックトークを行い、調べ学習に結び付けることもできます。ブックトークで紹介した本は、書名、著者、出版者、出版年などのデータを記載したリストを作成し、読みたいときにすぐ探せるような工夫を講じると効果的です。



ストーリーテリング

物語や昔話等の内容を子どもの顔を見ながら語って聞かせることです。事前に話の内容を覚えて語るだけに、準備はたいへんですが、語り手の人柄が読み手にも伝わり、読み聞かせ以上に語り手と聞き手の交流が深まります。

アニメーション

みんなで同じ1冊の本を読んだ上で、グループに分かれてその本の内容に関するクイズに挑戦するものです。読書の楽しみを受け取るだけでなく、楽しみを自分たちで作り出すことができる新しい方法であり、ゲーム的な手法を通して、子どもたちを本と出会わせ、物語の世界に誘うことができます。



16 2
18 10
18 3
18 12

19 3
21 1

Vol. 7